

議事録

作井技術委員会 事務局

平成 26 年度 第 1 回運営幹事会

開催日時：平成 26 年 5 月 23 日（金）15：00～18：30

開催場所：国際石油開発帝石（株）32 階応接 05 会議室

出席者：池田委員長、浦野、石井、武村、日野、原田、菅野、佐藤、長縄各幹事、古谷座長、福嶋（睦）座長、豊田事務局（12 名）

欠席者：田村、福嶋（直）各幹事

懇親会会場：34F 社員クラブラウンジ

議題 1：各分科会活動報告

1) 大水深掘削技術分科会：古谷座長

2) HSQE 分科会：福嶋（睦）座長

➤ 両委員会ともに特に活動実績なし。シンポジウム準備のサポート。

議題 2：H26 年度 春季講演会準備

1) シンポジウム／個人講演の司会者決定 (添付資料①)

➤ シンポジウム、個人講演の司会者は添付資料の通りとする。

➤ シンポジウムの各セッションの時間は目安なので、議論がある程度煮詰まったところで、浦野幹事が議論のまとめを行う。

➤ 時間の管理は司会者が行う。セッション 2 は、午前で終了させる必要がある。セッション 3、セッション 4 は 90 分程度になるとのこと。司会者が会場にいる関係者・専門家へ質問をする。

➤ シンポジウムの進め方については、別ファイルの討議メモも参照願う。

2) 講演会当日の事務局および司会者の読み原稿（案） (添付資料②)

➤ シンポジウム準備コアメンバー（浦野、田村、武村、日野、福嶋（直）、福嶋（睦）、疋田）は、シンポジウム時は前に座る。スクリーン向かって逆ハの字に席を準備する。

➤ シンポジウムの質問に関しては、講演者が質問の時間を設ける。

➤ マイクは 4 本あるので、講演者に 1 本、司会者に 1 本、会場に 2 本配置。マイクの本数増やせるか JAPT に問い合わせをする。

3) シンポジウム討論会速記見積り

➤ 例年はテーマに対してのパネルディスカッションを文字に起こして原稿にしていたが、今年度は、シンポジウムの実施方法が例年とは異なるため、質疑応答を録音して文字に起こしても Q&A 録になってしまうということで、セッションのまとめを原稿にする方針とした。

➤ まとめ原稿を作成するために、予備として、IC レコーダーでシンポジウムは全部録

音する。速記会社への依頼は必要に応じて行うこととする。

- テープ起こしに関しては、下記 URL の業者で、1分 200 円で行える。

<http://www.8089.co.jp/support/price.html>

4) マイク係担当者について

- マイク係は INPEX の若手 4 名に手伝ってもらおう。
- HP からの情報では、会場にマイクは 4 本あるとのこと。その場合は、司会者・講演者・前に座ったメンバーに 2 本、会場からの質問用に 2 本を割り当てる。

5) 学生優秀発表賞の決定方法、協会誌への投稿依頼手順

- 学生優秀発表賞の決定方法は、審査表の全体評価にて 5 点満点の平均 3 点以上であれば優秀講演賞の受賞に値するという基準とする。
- 合格した場合、講評を JAPEX 新委員長が書く。
- 学生優秀発表が基準に満たない場合、作井技術委員会から学生へ奨励賞として 3000 円の図書券を与える。事務局で購入しておく。
- 協会幹事の長縄幹事より、協会誌への投稿依頼は今年も引き続き実施してほしい、その評価項目・評価シートの様式は各技術委員会ごとに自由に決めて行うこととする、という報告があった。昨年は評価項目が多すぎて書く時間がなかったので、今年は当日でも書ける簡略評価とする。作井の評価方法は、講演ごとに○・×の基準、コメントがある場合は記入する（簡単な記入表を事務局で用意する）。事務局の基準で講演者へ投稿依頼を行う。

6) その他

- 個人講演終了後の池田委員長「閉会の辞」のあと、新委員長に挨拶（自己紹介）してもらうことを JAPEX 武村幹事（来季委員長予定）へ依頼した。
- 運営幹事会にて、シンポジウム講演者はパワポを持ち寄って、運営幹事で確認した。修正項目などは別ファイルに記載。修正後、遅くとも一週間前の 5 月 28 日には作井技術委員全員に配布して目を通してもらい、シンポジウム当日に会場から積極的に討議に参加・質問・コメントしてもらうよう依頼する。（配布版は、最終版でなくてよい）
- 各種タイトル、避難経路の確認を行った。

議題 3：H25 年度活動費会計報告および H26 年度活動費予算案

1) H25 年度活動費会計報告

(添付資料③)

H25 年度予算¥300,000+利息¥24、支出¥297,359、残金¥2,665

4/4 残金¥2,665 を協会事務局（西様）へ返却済み

2) H26 年度活動費予算案

議題 4：理事会報告

1) 第 1 回 JAPT 理事会報告（口頭報告）

- 石油技術協会賞として、JAPEX 秋田地域女川層タイトオイルの可能性、JOGMEC 産油国技術者養成プログラムが受賞した。
- 80周年記念誌は、6月中旬に校了、夏以降に発刊される見込み。

議題 5：その他

1) 事務局報告など

- 技術協会の幹事は、長縄幹事が継続して下さることとなった。

以上